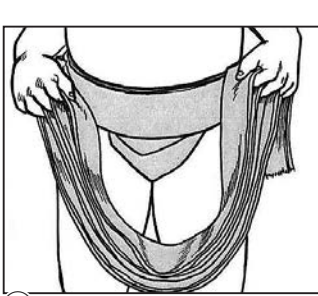
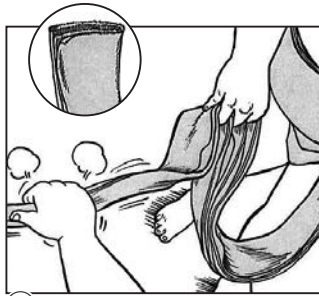


# まわしの締め方



① 補助者は四つ折りにしてあるまわしを、このように指で手に取って、持つ。



② 締める人は、補助者からまわしの先端を受け取る。



③ 四つ折りにしたまわしの先端を二つに開き、前袋部分を形作りながら、八つ折りにして立てまわし部分を作る。



④ 先端から立てまわしまでを跨ぎ、股に挟んで、前袋をつくる。補助者は後ろから立てまわしが下に落ちないように、やや上に引き加減で張って持っている。



⑤ 締める人は、まわしの先端を顎に挟み、立てまわしを持つ手を左手に変える。



⑥ 後ろの立てまわしの部分を八つ折りにして左手で腰のあたりに押さえ、中心をつくる。補助者は、位置を確認して伝える。



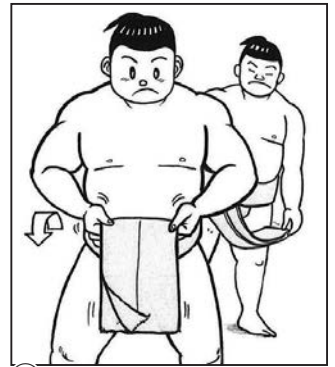
⑦ 締める人は、左手で中心をしっかり持ち、自ら右回りに回る。補助者はまわしが締める人の後ろに来た時はやや上加減に、お腹側に来た時はやや下加減にすると良い。



⑧ まずは2周まわる。補助者は、前まわしから横まわしへと、まわしがぴったりと重なるようによく見て、締まるようにする。



⑨ 締める人は、立てまわしを左手でしっかり押さえ、右手で横まわしを持ち前に引っ張り、腰を左に振りながら、締めていく。



⑩ 立てまわし部分を2周したら、前垂れを下ろし、締める人は前後がきつくないか調整する。



⑪ 調整したら、下ろした上からまわしを締めて行き、もう1周巻く。



⑫ きつく締める時は、前袋に親指を入れ前に出す。

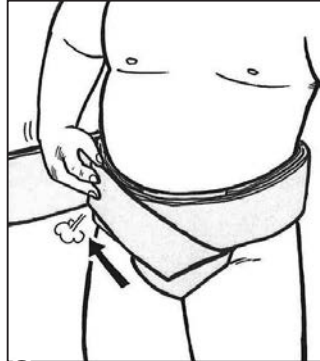


⑬ ゆるめる時は、横まわしの下の前袋に親指を入れ引き下げる。

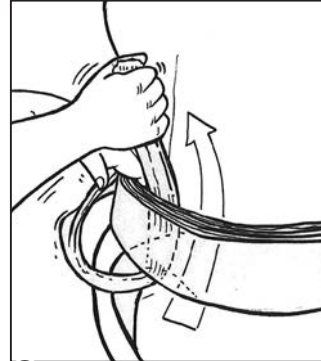
締める人は、このように持つ。



⑭ 垂れている二つ折りの前垂れを谷折りに折って合わせ四つ折りにする。



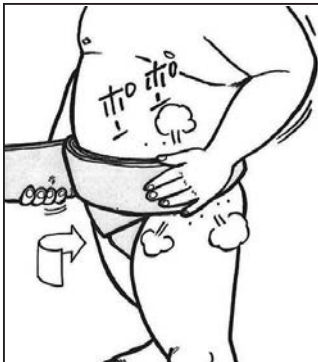
⑮ 右側に折り込むと前に三角が形づくられる。



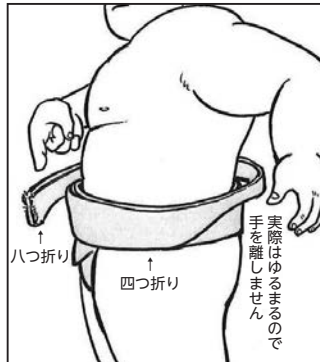
⑳ 立てまわしの下を通して、横まわしの下から上に引き出す。立てまわしの位置にも気をつける。



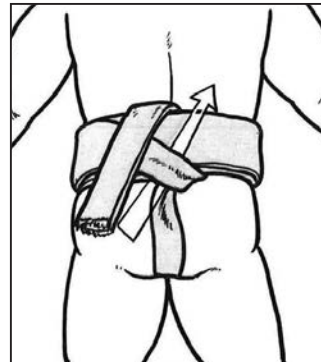
㉑ 補助者は腕をテコにして引き上げる。締める人は体を下におろす。締める人は体を下におろす。



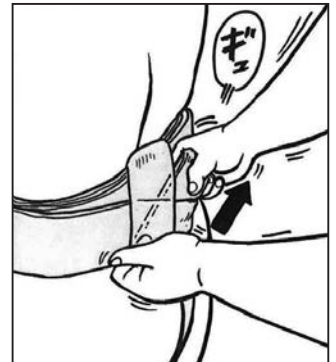
⑯ さらに折り込みの上から締めながら、もう1周巻きながら、ゆるまなようによく締めてたたいていく。



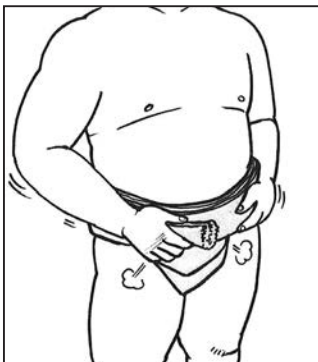
⑰ 補助者は、4周を過ぎたら、左横辺りから四つ折りを八つ折りにして結び目にする。



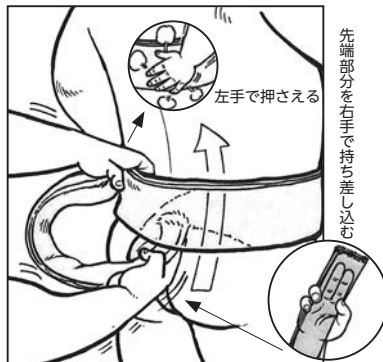
㉒ 引き出した最後尾部分を左斜めにおろして、右側に差し込む。



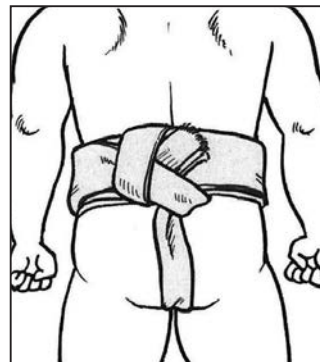
㉓ 最後尾部分を強く締めて結び目とする。



⑱ ヘソの位置に最後尾がくると、後ろの結び目の長さがちょうどいい。



⑲ 補助者は、最後尾を左腰横くらいから八つ折りにして右手に持ち、コブにならないように気をつけながら、立てまわしの下に通す。締める人は、左手でまわしをしっかりと押さえておく。



㉔ 出来上がり。

基本的に、まわしは立てまわしの後ろ部分から数え始め、4周で締めます。締め終わったら、立てまわしは真ん中に来ているか、前袋がきちんとあっているか、腰がきとんと下ろせるか、動いて確認しましょう。